

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		事業コード 091302		ふれあい収集事業(東部クリーンセンター)		担当 部課 グループ	部課コード	090900	TEL	2946-5353										
開始年度		17	年度	→	終了年度		年度	東部クリーンセンター収集事務所												
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加					根拠法令													
②事業の概要	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画					所沢市ふれあい収集実施要綱													
	関連・類似事業	ふれあい収集事業(西部クリーンセンター)・ごみ収集事業(東部クリーンセンター)																		
	総合計画の体系	章	環境・自然	節	廃棄物の減量・資源の循環	基本方針	環境に配慮したごみ処理体制の推進													
	事業開始の背景	高齢化社会に対応したサービスの一環として、ふれあい収集事業を平成17年4月1日から開始した。																		
③事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)																			
	高齢又は障害等により、家庭から排出するごみを自らがごみ集積所まで出す事が困難な者の生活環境の向上及び安全確保のため。																			
	対象(誰を、何を対象としているのか)																			
	<table border="1"> <tr> <td>対象数</td> <td>単位</td> <td>平成 26 年度</td> <td>236</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平成 27 年度</td> <td>248</td> <td>世帯</td> </tr> </table>											対象数	単位	平成 26 年度	236	世帯			平成 27 年度	248
対象数	単位	平成 26 年度	236	世帯																
		平成 27 年度	248	世帯																
事業の具体的な内容及び実施方法																				
<p>家庭から排出するごみをごみ集積所へ出すことが困難な高齢者や障害等に対し、市が利用者宅の戸口において直接ごみを収集する。(週1回:粗大ごみを除く全品目:家庭の資源とごみの分け方・出し方に従う)</p> <p>さらに、利用者が[声かけ]を希望する場合には[声かけ]をして安否確認を行う。(希望者以外の安否は排出されたごみの有無から判断する)</p> <p>[月曜日]所沢地区 [火曜日]松井地区 [水曜日]柳瀬地区・富岡地区 [木曜日]新所沢東地区・並木地区 [金曜日]吾妻地区</p>																				
④経費	＜会計種別＞		一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)													
	予算現額				471	489	332													
	決算(見込み含む)				429	435														
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)		(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	(0.00 人)	※「財源内訳」について平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。													
正規職員人件費		2.90 人	25,291	2.40 人	20,784															
事業費合計		25,720		21,219																
財源内訳		一般財源		25,720	21,219	332														
		国・県支出金																		
		その他()																		
⑤実績	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標											
	年間利用者数		利用者数		世帯	236	248	280	300											
	年間利用予定者数		利用者数		世帯	245	280	280	300											
⑥成果	項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標											
	利用率		年間利用者数÷年間利用予定者数		世帯	目標値 240	270	280	300											
	実績					236	248	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る												
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	98	92	↑どちらかをチェックしてください												
⑦改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析														
	利用者が安心してサービスを受けられるよう、引き続きケアマネージャー等との情報共有に努めるとともに、利用者の安否確認時に異常が発生した際、速やかな対応を実施した。					新たに制度を利用する高齢者等の世帯は増えているが、療養等に伴う長期入院で収集を休止する利用者も増えたため目標値に達しなかった。														
⑧評価	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由	高齢化の進展に伴い利用者の増加が見込まれ、人員配置や適正な車両運用により事業の効率化を進める必要がある。														
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他		理由	収集に使用する車両の維持管理経費がかかるため。														
⑨評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性														
	自らごみを集積所に出すことが困難な状況にあるにも関わらず、ふれあい収集制度を利用していない市民も少なくないと考え、制度の周知・啓発用のポスターとチラシを作成した。市役所内の関連部署及び社会福祉協議会等の外部機関宛てに掲示と配架を依頼し、制度の周知・啓発に努めている。					毎年利用者は増加しており、利用者から大変喜ばれている。事業開始から11年が経過し、利用者の現状把握(健康状態等)のため、ケアマネージャーとの連携が必要となっている。今後も利用者の増加が見込まれるため、担当者数の充実や他の関係部署との連携等、今後の体制を整えていく必要がある。														
評価日		H28.8.1		評価者職氏名		収集事務所長 當摩 卓														
⑩環境影響	有益な環境影響		2-3廃棄物の適正処理		有害な環境影響を及ぼす原因活動		車両の使用		規制を受ける環境法令等											
									緊急事態											
										無										
										無										